

今月は詩、説明文、随筆文と毎回違ったジャンルの素材文に取り組んでいきます。それぞれの回のポイントを参考にして、学習を進めてください。

◆第16回 詩②／ことわざ・慣用句②

練成問題では詩を学習します。詩を読むときは、詩に描かれている世界を頭の中でイメージするようにしましょう。また、設問を解くときは、すべての設問に目を通し、解きやすそうなものから手をつけるようにするのがポイントです。

語句はことわざ・慣用句を学習します。知らなかったものは、意味もふくめて覚えるようにしてください。動物名や植物名の入ったことわざ、体の一部を表す漢字が使われている慣用句は入試でよく出るので、しっかり学習しましょう。

◆第17回 説明文④／主語・述語・しゅうしょく語

練成問題では説明文を学習します。説明文では、話題が何かをつかむことと、その文章の結論が何かを読み取るようにしましょう。また、抽象的なことが書かれている部分と、具体的な例が書かれている部分を読み分け、論理の展開に気を配りながら読み進めていくことが目標となります。

語句は主語・述語・しゅうしょく語を学習します。主語、述語を見つける問題は、先に述語を探してから主語を見つけるようにするのがポイントです。しゅうしょく関係を考える問題では、つなげて読んでみて、意味が通じる場所を探そうにするのがコツです。

◆第18回 随筆文③／三字・四字熟語②

練成問題では随筆文を学習します。随筆文では具体的なエピソードが書かれている部分と、筆者の感想や意見が書かれている部分を読み分けるようにすることが大切です。感想や意見が述べられているところをもとにして主題を考え、設問を解くときにいかせるようになることが目標です。

語句は三字・四字熟語を学習します。三字熟語は近年灘中入試でよく出題されています。ふだんから意識しておいてほしいところです。四字熟語は漢数字が入ったもの、反対の意味の漢字が入ったものがよく出題されます。知らなかったものは意味とともに覚えておきましょう。

文章題総合 植木算 数列

第16回～第18回の授業では、「文章題総合」「植木算」「数列」を学習します。「文章題総合」では少し難易度の高い問題に取り組むことで文章をきっちりと読むことを学習し、「植木算」「数列」では基本的な仕組みからしっかりと学びます。

◆第16回 文章題総合

今回は「〇〇算」という1つのパターンの文章題を学習するのではなく、いろいろな種類の文章題について学びます。問題文をしっかりと読み、ノートに図や式を書きながら解き進めていきましょう。今回扱う問題はやや難易度が高いですがその分学習効果は高いですので、しっかり考えてほしいと思います。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 複数の点と点の間の長さについて考える問題です。与えられている図で考えるのではなく、線分図に書き換えると解きやすくなります。

例題2 今ではあまり見かけなくなりましたが、ジュースの空きビンを何本か集めて新しいジュースに交換する問題です。この問題も図を書くことで式が立てやすくなります。

例題3 これも有名な整数の問題です。与えられている2数の和からもとの4つの数を判明させます。頭の中だけで考えずに、条件をノートに書きながら解き進めましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3のそれぞれ改題になっています。

解いたあとと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 与えられている2種類の記号が、それぞれどのような計算を表しているのかをしっかりと

読み取ってください。

- [2] (1)は与えられている図から計算できますが、(2)は規則性に注目して表を書きます。
また、(3)は規則が見つけづらいので、図をしっかりと書いてから規則を考えましょう。
- [3] 3年灘ジュニア web で扱う問題の中でも屈指の難問です。配点を変えたことで合計点が
15点増加したことを上手く図で表します。
- [4] 問題の条件の通りに数字を入れていくパズルのような問題です。まず1と9の場所を確定さ
せて、その後は、すでに書かれている6を手掛かりに解き進めます。
- [5] 5人の背の高さを数直線上に表していきます。このとき「もっとも背が高いのはD」という
ことに注目して、Dから書き始めていきます。
- [6] 残った1枚のカードを取り除くと、残りのカードの数の和が4で割り切れることから考え
ます。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、[1], [2], [4], [5]です。

◆第17回 規則性Ⅰ 植木算

植木算について学習します。植木算の問題の多くは「木と木の間に何か所あるか」に注目すると、
うまく割り算を使って解くことができます。基本的な仕組みをおさえてもらいたいと思います。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 木を端から端まで植えた場合のパターンを3つ学習します。すべて「間の数」に注目し
て解いていきます。

例題2 池などの円形状の道に木を植えるパターンです。このパターンは間の数と木の本数が
等しくなるので比較的考えやすいです。

例題3 長方形の紙をはり合わせて長いテープを作る問題です。紙をはり合わせる「のりしろ」
が間の数にあたることを理解することがポイントです。

例題4 例題3と同じく長方形の紙でテープを作る問題です。全体の長さから「のりしろ」の
長さを求めます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違ってい
たら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わ
かりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をす
べて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①～④が例題 1 の、⑤と⑥が例題 2 の、⑦と⑧が例題 3 の、⑨と⑩が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- ① 計算だけで求めようとする間違えることが多い問題です。図などで表して、確認することが大切です。
- ② 例題 1 の類題ですが「道の両側に植える」ことに注意が必要です。
- ③ 植木算の考え方を、電車の発車時間に応用する問題です。電車が発車する間隔が間の数にあたります。
- ④ 少し複雑な応用問題です。まずは木と木の間に何本の旗を立てるのかを考えますが、このとき両端には木があるので旗を植えないことに注意します。
- ⑤ これも植木算の応用問題です。まず、木を切る回数が「間の数」にあたることを理解します。そして、休みの回数は切った回数より 1 回少ないことに注意します（一番最後の休みは含まないため）。
- ⑥ この問題も植木算の考え方を利用します。休みの回数が「間の数」にあたります。
- ⑦ ⑥を複雑にした問題です。時間の計算をきっちりとできるようにしてください。
- ⑧ 3 cmの幅の長方形の紙が何枚できるかを求めれば、あとは例題 3 と同じ問題です。確実に正解させてほしい問題です。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ②, ③, ⑤, ⑧です。

◆第 18 回 規則性Ⅱ 数列

今回は数列の中でも「等差数列」を中心に学習します。等差数列には「 $\square$ 番目の数を求める」公式と「 $\square$ 番目までの和」を求める公式があり、この 2 つは必ず定着させる必要があります。単に丸暗記するのではなく公式が出来るまでの仕組みを理解すると、より定着しやすくなります。動画をしっかりと確認して取り組んでください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 等差数列の $\square$ 番目の数を求める問題です。 $\square$ 番目の数は確実に求められるようにしてください。

例題 2 例題 1 の逆算になる問題です。

例題 3 等差数列の和を求める問題です。公式を覚えることも大切ですが、「なぜこの公式で求め

られるのか」を理解してください。

例題 4 例題 1 と例題 3 を合わせた問題です。テストでは「次の等差数列の 10 番目の数までの和を求めなさい。」という出題がよくあります。これを解くには「まず 10 番目の数を求めて、その数を利用して 10 番目までの和を出す」という手続きが必要であることを理解してほしいと思います。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題 1 の、③と④が例題 2 の、⑤と⑥が例題 3 の、⑦と⑧が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあとと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 数が減っていくパターンの等差数列です。単に公式にあてはめても解けますが、仕組みを考えて解いてほしい問題です。

② ①と同じく、数が減っていくパターンの等差数列の問題です。

③ 等差数列の和の公式を利用する問題です。「まず 20 番目と 30 番目の数を求め、その数を利用して和を求める」という流れをしっかりと理解してください。

④ 等差数列以外の数列を扱っています。どのような規則があるかじっくり考えてください。

⑤ 数直線を題材にした問題です。線が等分されていることから、等差数列の公式を使うことが出来ます。

⑥ 等差数列の応用問題です。正六角形を作るのに必要な棒の本数を表にまとめることが重要です。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ②, ③, ⑥となります。